

平成 27 年度愛知県生涯学習推進計画事業  
(案) について

# 1 平成27年度愛知県生涯学習推進計画事業数及び予算額

総事業数、総予算額

11部局44課

170事業

1,757,571千円

(10部局44課

159事業

2,175,021千円)

【主な増減の内訳】			(単位:千円)
あいちトリエンナーレ事業費	84,199	第52回技能五輪全国大会・第35回全国障害者技能競技大会開催費	▲ 480,583
2020年東京オリンピックあいち選手強化事業費	70,679		
県美術館コレクション展・企画展開催費	63,001	持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議支援事業費(開催支援費負担金)	▲ 245,664
教育訓練事業費(愛知県職業訓練会館)	22,013		
国民文化祭開催準備費	20,870		
外国人児童生徒日本語教育推進事業費	17,895		
あいち山車まつり活性化事業費	14,698		
あいちイクメン推進事業費	13,762		
	307,117		▲ 726,247

# 2 部局別事業数

部局・課		事業数		部局・課		事業数				
総務部	法務文書課	1	1	環境部	水地盤環境課	2	企業庁	水道事業課	1	1
	地域振興部	地域政策課	1		15	自然環境課		3	教育委員会事務局	総務課
国際課		13	資源循環推進課	4		財務施設課		1		
交通対策課		1	健康福祉部	子育て支援課		4	生涯学習課	35		
県民生活部	県民総務課	3		22	高齢福祉課	3	高等学校教育課	3		
	県民生活課	2			障害福祉課	8	義務教育課	3		
	社会活動推進課	6			健康対策課	7	特別支援教育課	2		
	男女共同参画推進課	9	産業労働部		産業科学技術課	3	健康学習課	3		
	地域安全課	2		7	労働福祉課	1	体育スポーツ課	6		
文化芸術課	12	就業促進課			3	警察本部	子ども女性安全対策課	3		
学事振興課	1	農林水産部	食育推進課		2		少年課	3		
防災局	防災危機管理課		3	7	農業経営課		2	生活安全総務課	1	
	消防保安課		1		林務課		1	サイバー犯罪対策課	1	
環境部	環境政策課		1		森林保全課		2	交通総務課	1	
	環境活動推進課	2	11部局44課170事業							
	大気環境課	1								

### 3 体系別事業数及び予算額

5本の柱	23の具体的な施策	事業数	予算額 (千円)
① 長寿社会を豊かに生きる生涯学習	「生きる力」を育む学校教育の充実	11	63,842
	健康づくり・スポーツ活動の促進	16	283,301
	芸術・文化の振興	14	201,886
	高齢期の学びと社会参加活動の促進	4	167,459
② 家庭と地域の教育力を高める生涯学習	家庭教育の充実と子育て支援	13	90,045
	地域の教育力の向上	4	271,228
	青少年の健全育成	10	6,701
	食育の推進	3	17,255
③ 持続可能な社会づくりを進める生涯学習	持続発展教育（ESD）の推進	2	5,968
	環境学習・環境活動の推進	17	116,319
	安心・安全な県民生活の確立	17	45,823
	人権意識の啓発	6	6,764
	男女共同参画社会の形成	14	16,177
	障害者との共生社会づくり	9	68,808
	多文化共生社会の推進	14	32,324
	「モノづくり」の継承と発展	3	3,937
④ 職業的自立を高める生涯学習	若者等に対する職業意識・職業観の醸成	2	40,411
	職業能力の向上	5	93,117
	リカレント教育の推進	2	7,223
⑤ 生涯学習推進体制づくり	生涯学習推進体制の充実	2	913
	学習情報の提供と相談体制の充実	1	7,223
	人材・団体の育成と調査・研究の推進	6	13,138
	生涯学習関連施設の充実	15	364,861
合計		170	1,757,571

※ 合計は1事業で複数の体系に該当する事業もあり、合計とは一致しない。

#### 4 平成27年度の主な事業

##### <① 長寿社会を豊かに生きる生涯学習>

#### シニア地域デビュー支援事業費

5,788 千円（生涯学習課）

シニア層が地域社会に参加するための第一歩を踏み出すためのきっかけづくりを設定し、社会参加活動への意欲を増進させ、継続的な社会参加を促すとともに、シニア世代の学びの循環をつくりだす。

- ・シニア地域デビュー連絡会議費（600 千円）

シニア地域モデル事業を実施する市町村との連絡調整・情報交換を行う。

- ・シニア地域デビューモデル事業費（2,800 千円）

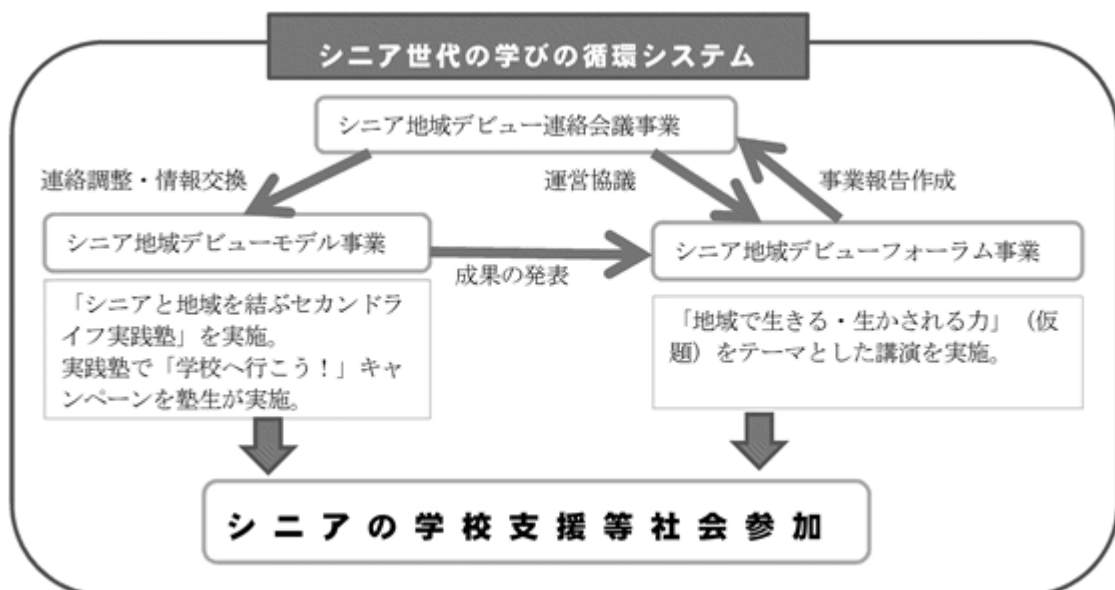
「シニアと地域を結ぶセカンドライフ実践塾」を公民館で開催し、実践塾の参加者による「学校へ行こう！キャンペーン」を実施する。（4市町村でモデル的に実施）

対象者：社会参画意識はあるが、それを行動に移せていない60歳以上の方

- ・シニア地域デビューフォーラム事業費（2,388 千円）

高齢者自身が社会を支える一員として、その有する能力や経験を十分に発揮し、生き生きと活躍できる社会を考え、行動するための契機とする。

「地域で生きる・生かされる力」（仮題）をテーマとする講演と実践塾の取組発表



## <② 家庭と地域の教育力を高める生涯学習>

### あいちイクメン推進事業費

13,762 千円（子育て支援課）

父親と子どもを対象にしたあそびの体験プログラムを、県内各地域で市町村と連携して実施し、地域における父親の積極的な育児参加を支援するとともに、父親の育児参加をテーマとする講演会を行い、父親の育児参加を促進する。

#### ・イクメン応援キャラバン隊 2015（9,106 千円）

父親と子どもを対象にしたあそびの体験プログラムを市町村児童館等 20 か所で市町村と連携して実施するほか、体験プログラムを実施できるよう市町村児童館等職員に研修を行う。また、愛知こどもの国、海南こどもの国及び児童総合センターにおいて、体験プログラムの実施と育児、家事に関する講演会を開催する。

#### ・市町村向けマニュアルの作成（1,175 千円）

キャラバン隊で実施した体験プログラムの実施方法等を掲載したマニュアルを作成し、市町村に配布する。

#### ・県民向け講演会の開催（3,481 千円）

キャラバン隊で実施した体験プログラムを広く紹介するとともに、父親が積極的に育児に参加しやすい環境づくりを推進するための講演会を開催する。

（参考）

### 愛知県子ども読書活動推進計画（第三次）の推進

#### ～読書が好き！と言える子どもの育成を目指して～

平成 26 年 3 月に「愛知県子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定し、今後取り組むべき主な課題として「小さい頃の読み聞かせの充実」、「魅力ある学校図書館づくりの推進」、「高校生の不読率の改善」を挙げている。

平成 26 年度は、子どもが小さい頃の読み聞かせの充実のため、リーフレット「子どもが本を好きになるために」を作成し、各市町村に活用を依頼した。また、高校生の不読率の改善を図るため、「こころときめく贈り物～高校生にすすめる 1 冊の本～」を作成し、県内すべての高校等で活用を促した。

平成 27 年度は引き続き、高校生の不読率の改善を図るとともに、魅力ある学校図書館を目指して、公立図書館と学校図書館との連携のためのモデル事業を行う。

### <③ 持続可能な社会づくりを進める生涯学習>

ユネスコスクール活性化事業費

5,401 千円（生涯学習課）

ユネスコスクールの活動を継続的に支援し、ESD の推進拠点としてのユネスコスクールの活性化を図る。

加盟校数 156 校（平成 27 年 1 月末時点、申請中を含む）、全国 1 位

・ユネスコスクール支援会議設置事業費（300 千円）

ユネスコスクールの活動やネットワーク化等について、助言・指導を行うため、大学、NPO、公民館等との連携により支援会議を設置する。

・ESD 活動・研修促進事業費（285 千円）

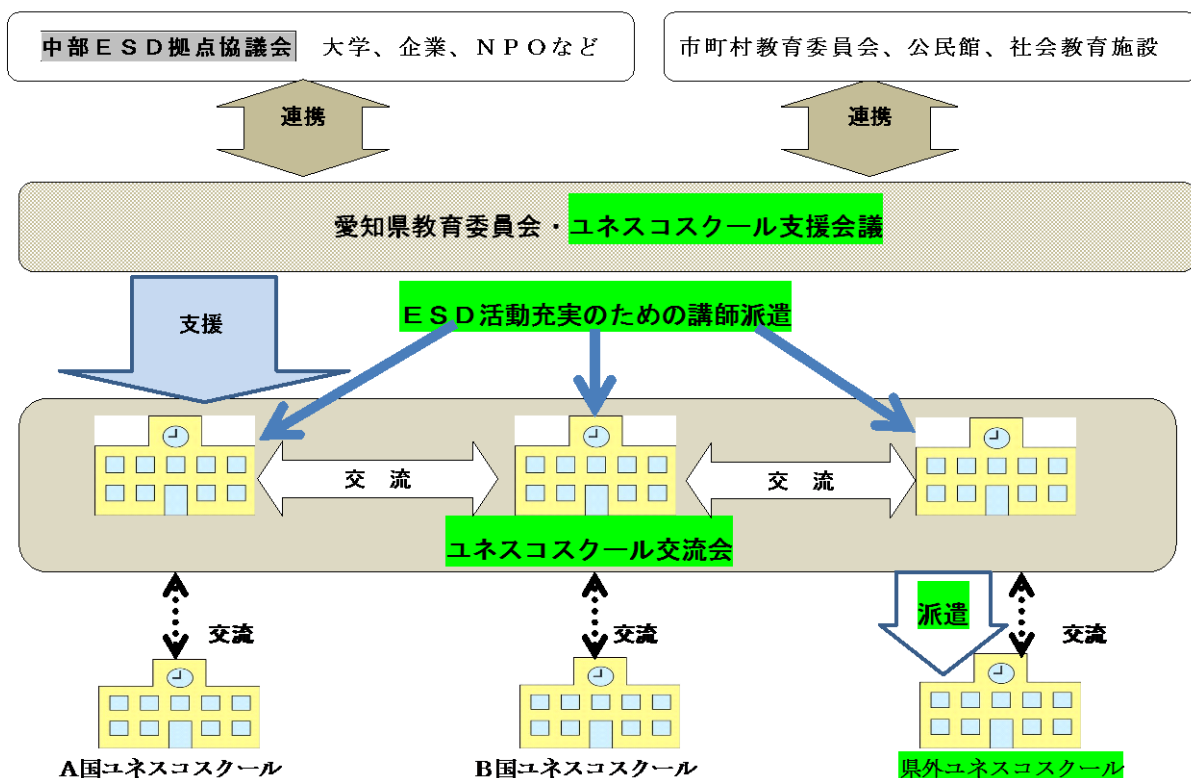
ユネスコスクールの求めに応じて、先進的な活動を行っている大学、NPO 等から講師を派遣し、ESD 活動の一層の促進を図る。

・ユネスコスクール交流会（4,816 千円）

ユネスコスクールの活動をより充実したものにするとともに、ユネスコスクール間のネットワークを構築する。

- ①児童生徒を県外のユネスコスクールへ派遣
- ②ユネスコスクールの成果発表と交流の場を設定

**【ユネスコスクール活性化事業】**



## <④ 職業的自立を高める生涯学習>

### 職業教育充実強化事業費

9,650 千円(特別支援教育課)

企業のニーズに即し、幅広い業種に対応できる生徒を育成するため、知的障害特別支援学校高等部や高等特別支援学校等における職業教育の充実強化を図る。

#### ・知的障害特別支援学校高等部における「職業コース」の設置(6,750千円)

一般就労への就職率 50%（「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」）という目標達成に向けて、平成 28 年度以降に知的障害特別支援学校高等部へ「職業コース」※を導入するにあたり、地域の企業と連携して効果的な指導内容の検討を行うとともに、必要な物品を整備する。

#### 【知的障害特別支援学校における就職率（平成 22～25 年度、一般就労）】

年 度	平 22	平 23	平 24	平 25
就職率	36.7%	37.4%	39.6%	38.1%

#### ※「職業コース」

一般就労を目指す生徒を対象としたコース。作業学習の時間数を増加し（8 時間⇒10 時間）、1 日を通して作業学習を行う日を週 1 日設けることにより、企業の現場において、より実践的な実習が可能となる。

#### ・高等特別支援学校等における職業教育の充実強化(2,900千円)

作業学習の種目や内容の刷新を図り、製造業における就職率の維持・向上を図るため、企業等と連携して種目の選定や指導内容の検討を行うとともに、必要となる物品を整備する。

#### 【高等特別支援学校及び校舎（分校）における就職率（平成 25 年度卒業生）】

業 種	製造業	サービス業	卸・小売業	運輸・通信業	その他
就職率	60.9%	13.9%	13.2%	4.0%	7.9%

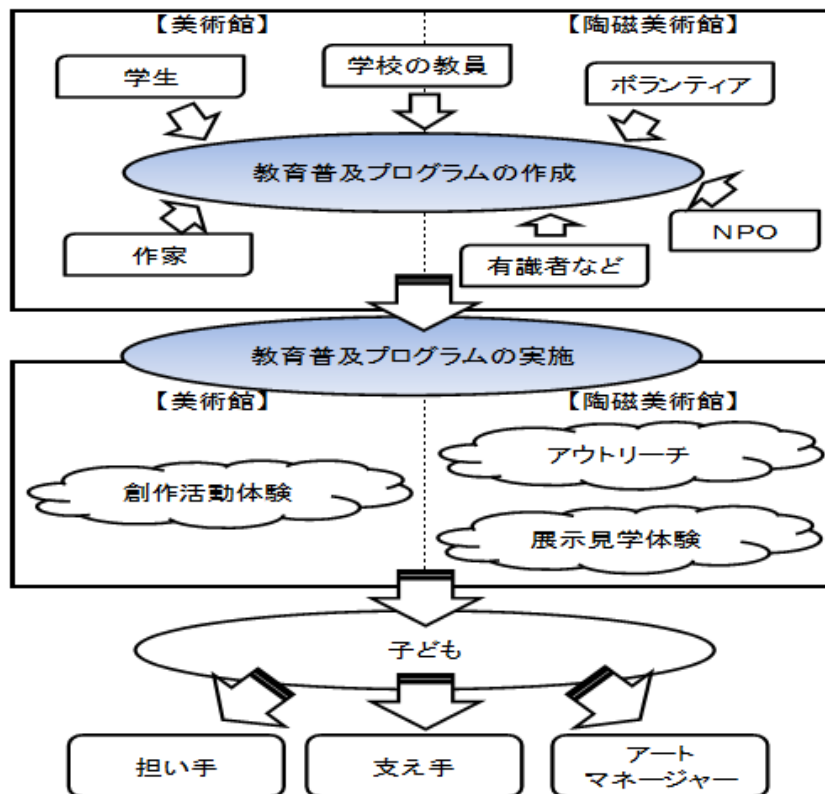
## <⑤ 生涯学習推進体制づくり>

子ども文化芸術体験事業費

9,771 千円（文化芸術課）

愛知県美術館及び愛知県陶磁美術館の特徴を活かし、次代を担う子どもたちが文化芸術に対して興味・関心を持つきっかけづくりを進める。

### 【事業目的イメージ】



### 【美術館】

- ・ 創作活動スペースの設置（2,116 千円）  
県美術館 10 階ロビーに創作活動を中心としたワークショップの場を設置する。
- ・ 常設及びイベント型プログラムの実施（2,759 千円）  
創作活動スペースで、いつ来ても楽しく創作活動ができる常設プログラムとイベント型プログラムを実施する。

### 【陶磁美術館】

- ・ 普及教育資材の作成・展示（3,548 千円）  
やきもの鑑賞のきっかけづくりや魅力を再発見できる教材を作成し、学校や各種イベント会場で活用する。
- ・ アウトリーチ活動等の実施（1,348 千円）  
学校での出前授業や各種イベント会場で電動ろくろの実演を行うほか、陶磁美術館の展示替え作業の一部を子どもたちに公開する見学体験会を実施する。